平成28年度上半期財政状況

平成28年度上半期（平成28年4月1日～9月30日まで）の予算執行状況や財産・市債の残高などをお知らせします。

▶問合せ　財務課　財政係（☎95-0146）

一般会計

福祉・教育・道路の整備など行政運営するための基本的な経費を計上し、市税・国庫支出金などを主な財源として構成する予算の中心となる会計です。

■歳入

名称	予算現額	収入済額	執行率(%)
歳入合計	244億7,704万円	105億6,844万円	43.2

■主な科目

市税	116億3,053万円	69億3,727万円	59.6
国庫支出金	39億4,312万円	11億1,935万円	28.4
市債	19億5,590万円	0円	0.0
県支出金	16億412万円	2億840万円	13.0
繰入金	13億8,622万円	0円	0.0
地方消費税交付金	11億3,400万円	6億5,335万円	57.6
繰越金	8億9,326万円	8億9,326万円	100.0
諸収入	7億2,728万円	1億9,751万円	27.2

■歳出

名称	予算現額	支出済額	執行率(%)
歳出合計	244億7,704万円	84億9,018万円	34.7

■主な科目

民生費	86億2,358万円	34億4,723万円	40.0
土木費	58億5,475万円	12億1,973万円	20.8
教育費	28億1,199万円	8億4,655万円	30.1
総務費	21億3,572万円	7億8,492万円	36.8
衛生費	20億825万円	7億5,455万円	37.6
公債費	15億3,746万円	7億4,071万円	48.2
消防費	7億7,592万円	3億2,726万円	42.2
商工費	3億2,308万円	1億8,907万円	58.5
議会費	2億6,436万円	1億3,279万円	50.2
農林水産業費	9,818万円	4,237万円	43.2
労働費	525万円	500万円	95.2

特別会計

国民健康保険のように特定の人たちの相互扶助を目的とした事業や、下水道事業など特定の収入を特定の支出に充てて運営する会計です。

名称	予算現額	収入済額	支出済額
国民健康保険特別会計	62億8,045万円	24億5,138万円	26億673万円
公共下水道事業特別会計	21億6,810万円	6億3,191万円	6億6,281万円
土地取得特別会計	150万円	25万円	0万円
介護保険特別会計	32億2,388万円	13億166万円	12億2,477万円
後期高齢者医療特別会計	7億7,377万円	2億4,793万円	1億4,210万円
合計	124億4,770万円	46億3,313万円	46億3,641万円

企業会計（水道事業会計）

民間企業のように、その事業の収入で事業をまかなう「独立採算」方式の会計です。

収益的収支…事業の経営活動にかかる収支のことです。
資本的収支…事業に必要な施設の建設等にかかる収支のことです。

区分		予算現額	執行済額
収益的	収入	13億円	4億8,460万円
	支出	12億8,000万円	3億6,336万円
資本的	収入	3億1,200万円	2,394万円
	支出	6億1,300万円	6,127万円

市税の収納状況

区分		予算現額	収納済額
市民税	個人	50億2,977万円	23億8,663万円
	法人	6億1,750万円	3億2,447万円
固定資産税		44億8,965万円	32億1,700万円
軽自動車税		1億305万円	1億1,313万円
市たばこ税		4億200万円	1億8,575万円
都市計画税		9億8,856万円	7億1,028万円
合計		116億3,053万円	69億3,727万円

市有財産

（平成28年9月30日現在）

基金…61億4,668万円　**土地**…793,015.60㎡

建物…158,397.74㎡

市債の状況

市債残高　259億3,155万円

道路・公園・下水道・学校などを整備するときには、短期間に多額の費用が必要になりますので、計画的な財政運営のためにお金を借りて事業を行います。この借入金のことを市債といいます。

市債には、将来的に利益を受けることになる市民にも負担してもらい世代間の公平を図るという目的もあります。

■会計別

区分	金額
一般会計	166億1,789万円
特別会計	80億1,007万円
水道事業会計	13億359万円